

2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘C) 招聘成果報告書

(*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます)

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	社会学部・教授
	氏名	倉島 哲
海外客員 教員	所属・職	レンヌ第二大学・助教
	氏名	Jonathan BRESSON
招聘目的	1. 授業担当及び研究 <input checked="" type="radio"/> 2. 共同研究 (いずれかに○)	
招聘期間	2023 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 5 月 6 日	
招聘成果報告 以下の内容を記載して下さい。	<p>(1) 共同研究の内容</p> <p>本研究「武術における感情コントロールの民族誌的研究」は、武術において感情のコントロールが果たす役割を、社会学的フィールドワークおよび民族誌的な厚い記述により解明することを目的とする。具体的には、京都・大阪・神戸で開催されている武術交流会に焦点を当て、参与観察およびインタビュー調査を行った。</p> <p>(2) 共同研究の成果</p> <p>フィールド調査としては、まず、神戸(4月9日)、京都(4月16日)および大阪(4月23日)にて開催された武術練習会における参与観察を行った。この練習会は、申請者がすでに参与観察を開始しラポールを形成しているため、本調査のスムーズな実施が可能となった。</p> <p>申請者およびブレッソン氏の一方が練習に参加しているさいには、他方がビデオ撮影をすることで、主観および客観の双方から技法を捉えることができた。インタビューは個別の半構造化インタビューとして行い、ブレッソン氏が質問するさいは申請者が通訳を務めた。本調査で得られた知見は、論文化して、2024年3月に刊行予定の『スポーツ社会学研究』に投稿予定である。</p> <p>フィールド調査に加えて、本学社会学部において若手研究者養成のための活動を行った。まず、大学院生対象のセミナーにおいてブレッソン氏のこれまでの研究をわかりやすく整理した研究発表をしていただいた(4月25日)。これに加えて、社会学部教職員の参加する社会学部研究会(4月26日)でもブレッソン氏に研究発表をしていただいた。</p> <p>学会活動としては、招聘期間に先立つ3月17日に、中京大学で開催された日本スポーツ社会学会大会の国際交流委員会企画シンポジウム「暴力をめぐる社会的想像力とナイトクラブにおける闘争の現実」にてブレッソン氏にご発表いただいた。</p> <p>このように、ブレッソン氏の滞在期間をとおして、学内外の研究者と交流する場を数多く設けることができた。</p>	
1. 授業担当及び研究		
(1) 授業科目名		
(2) 授業担当の成果		
(3) 研究の内容		
(4) 研究の成果		
2. 共同研究		
(1) 共同研究の内容		
(2) 共同研究の成果		